

令和4年度事業報告

近年、核家族化や少子高齢化の急速な進展、地域における住民相互のつながりの希薄化、地域社会や家族形態の変容、個人の価値観や生活様式の多様化等を背景に地域の福祉課題は複雑、複合化している。

本会が上三川町と一体的に策定した「第3次地域福祉活動計画」(平成29年3月)では、「支えあい(愛) 助けあい(愛) つながり感じて暮らすまち」を基本理念とし、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、上三川町に暮らすすべての人が安心して、生きがいのある生活が送れるよう、周りを気遣う温かな思いやりにあふれ、地域での助け合い・支え合いによる地域福祉のまちを目指していくこととしている。

この基本理念のもと、令和4年度は計画実施の6年目として、各種の事業活動を展開した。

令和4年度の重点事業として、まず、「ふれあい健康福祉まつり」が挙げられるが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、本事業の趣旨を踏まえて原点に立ち返り、参加団体の活動PRを中心とした内容に変更するなど関係機関・団体等の協力のもと創意と工夫により多くの来場者を迎え、3年ぶりに開催することができた。

地域ネットワーク構築事業「くろねえ事業」では、「くろねえ会議」において買い物支援について意見交換を実施、移動販売について多くの意見が提案され、第1層協議体に提起し、令和5年4月から移動スーパーが導入されることとなった。また、住民の見守り活動を促進するため、地区ごとに話し合いを重ね、地域の見守り推進啓発チラシを作成し全戸配布を行った。さらに、「くろねえ個別会議」を開催し、個別の困りごとの解決に向け、地域住民と共に考え、支え合いや助け合いの地域づくりを推進することができた。

「ひきこもり対策事業」では、「かみのかわ福祉の集い」において、専門家による講演会を開催し、現状と課題、対応方法を学ぶとともに、ひきこもりに対する理解と啓発を図った。

また、頻発する災害や新型コロナウイルス感染拡大等、有事においても重要な業務を中断せず、必要なレベルで継続し早期に復旧するための「事業継続計画(BCP)」を作成した。

なお、高齢者が急病や災害等の救急時に必要となる情報を保管する「救急医療情報キット配付事業」の令和5年度開始に向け制度設計を行い、関係機関との綿密な連絡調整により協力体制を確立した。

I. 基本目標 1 地域福祉活動を担う人づくり

より多くの住民に地域福祉活動への参加・協力を促すため、福祉・人権教育の充実によりすべての住民の福祉意識の向上に努めるとともに、交流活動を推進します。
また、ボランティアセンターの運営・強化を進め、地域で中心となって活躍できるボランティアの育成やあらゆる人の社会参加を支援し、多様性を尊重した協働のまちづくりを推進します。

(第3次地域福祉活動計画より抜粋)

1 福祉・人権教育及び交流活動の推進

(1) 福祉教育

各小・中・高校からの相談に応じ、講師の紹介・出前講座を開催。

出前講座・・・26回

講師及びボランティアへの協力依頼

講師・・・・・・・・・・10回

ボランティア・・・5回

福祉教育受講児童・生徒数・・・・延べ1,277人

(2) 福祉教育連絡会

開催期日	内容	会場	参加者
2月14日(火)	令和4年度福祉教育実施状況について 福祉教育参考案内について 認知症サポーター養成講座について 地区社協について	オンライン 開催	15人

(3) ふくしアクションプログラム事業

上三川高校を対象に、本会と協働で企画・実施する福祉教育・ボランティア学習にかかる経費を助成する。(100,000円)

開催期日	学習内容等	参加者
9月26日(月)	福祉講演会 DET 群馬による障がい平等研修 ※感染対策のためオンラインで実施	第2学年160人
12月13日(火)	フィールドワーク事前学習	フィールドワーク 参加者45人
1月30日(月)	フィールドワーク 町体育センターの見学 町生涯学習課より講話 学校のバリアフリー調査	
3月17日(金)	振り返り学習 ※感染対策のためオンラインで実施	フィールドワーク 参加者45人

(4) 第31回中学生・高校生サマースクール

新型コロナウイルスの影響により中止。

- (5) サマースクールフォローアップ事業
新型コロナウイルスの影響により中止。

- (6) 小・中学生向け認知症サポーター養成講座

開催期間	回数	会場	延べ受講者数
通年	7回	各小・中学校等	406人

- (7) 第29回ふれあい健康福祉まつり

各テントにおける検温や消毒等の感染拡大防止対策を徹底しながら、創意工夫のもと参加団体の活動PRを中心とした内容に変更し、3年ぶりに開催。

開催期日	時間	会場	参加者
11月12日(土)	午前9時～正午	いきいきプラザ	10,000人

- (8) 第22回かみのかわ福祉の集い

表彰状：福祉関係職永年勤続者及び福祉団体役員永年勤続者（5人）

伝達式：県民福祉のつどい及び県老人クラブ大会における表彰者の伝達
（4人・6団体）

開催期日	時間	会場	参加者
2月11日(土)	午前9時30分～正午	いきいきプラザ	76人

- (9) ミニサロンの設置

自治会単位の小地域で実施する「ミニサロン」の運営を支援。

自治会名	場所	開催日	設立年度	月平均参加者数
① 桃畑自治会	公民館	毎月第1水曜日	H27	22人
② 願成寺自治会	公民館	毎月第2火曜日	H27	11人
③ 下多功自治会	公民館	毎月第2金曜日	H27	9人
④ 鞆堂自治会	公民館	毎月第4土曜日	H28	10人
⑤ 西汗下自治会	公民館	毎月第1水曜日	H28	15人
⑥ 東館北部自治会	代表者宅	毎月第1月曜日	H28	13人
⑦ 下町3区自治会	中央公民館	毎月第2金曜日	H29	25人
⑧ 坂上本田自治会	公民館	毎月第4土曜日	H30	11人
⑨ 下町1区自治会	公民館	毎月第2月曜日	H30	9人
⑩ 並木自治会	公民館	毎月第1金曜日	R1	15人
⑪ ゆうきが丘第3自治会	ゆうきが丘集会所	毎月第2土曜日	R1	開催なし
⑫ 大山第二自治会	公民館	毎月1回	R1	開催なし
⑬ 天神町自治会	公民館	毎月1回	R1	15人

⑭ 美里自治会	公民館	毎月1回	R 1	14人
⑮ 井戸川自治会	公民館	毎月1回	R 2	5人
⑯ 上神主自治会	公民館	毎月1回	R 2	13人
合 計				187人

(10) いきいきサロンの支援

主な活動内容 おしゃべり、紙工作、児童との交流、保健師による運動指導
地域包括支援センター職員による介護予防出前講座

サロン名	場所	開催日	設立年月日	参加者数
本郷小地区	本郷地域福祉センターきらきら館	毎月第1月曜日	H15.9.12	20人
本郷北小地区	本郷北コミュニティセンター	毎月第1木曜日	H16.4.15	20人
上三川小地区	いきいきプラザ団体事務室	毎月第1～3水曜日	H13.4.2	7人
北小地区	石田コミュニティセンター	毎月第2、4金曜日	H11.4.1	8人
坂上小地区	坂上コミュニティセンター	毎月第2土曜日	H16.8.4	20人
明治小地区	明治コミュニティセンター	毎月第2、4金曜日	H14.2.22	12人
明治南小地区	明治南コミュニティセンター	毎月第3水曜日	H13.11.29	15人
合 計				102人

(11) いきいきサロン連絡会

代表者を招集し、意見交換や情報提供を実施。

開催期日	時間	会場	参加者
3月3日(金)	午前10時～午前11時30分	いきいきプラザ 大会議室	21人

(12) 生きがいサロンの開催

開催状況(陶芸・ふくべは高齢者生きがい活動作業所)

サロン名	開催日	開催時間	回数	受講者
陶 芸	毎週月・木曜日	午前8時30分～午後3時	98回	26人
ふくべ細工	毎週火・金曜日	午前9時～午後3時	87回	11人
大 正 琴	毎月第1・3金曜日	午後1時30分～3時30分	8回	7人
社交ダンス	毎月第1～4金曜日	午後1時30分～3時30分	10回	10人

※大正琴サロンは令和4年7月をもって廃止。

(13) 地域の見守りと買い物支援事業(移動スーパー)

本会・町・㈱カスミと3者協定を締結。令和5年度から町内31か所で「移動スーパー」を実施。

(14) 買物交流ツアー

新型コロナウイルスの影響により中止。

2 福祉ボランティアの育成・活動支援

(1) ボランティア養成講座(基礎編)

開催期日	内 容	会場	受講者
9月21日(水)	オリエンテーション 地域包括ケアシステムとくろねえポイントについて ボランティア活動について 運動実習	いきいきプラザ 保健センター	6人
9月28日(水)	ボランティア活動紹介・工作実習 ボランティア登録・保険加入・くろねえ手帳の交付について		

(2) ボランティアフォローアップ研修

居場所サポートボランティアまたは訪問ボランティア養成講座を受講した方のスキルアップを目的に開催。(町健康福祉課と共催で実施)

開催期日	内 容	会場	受講者
12月7日(水)	ボランティアに活用できる折り紙について学ぶ	いきいきプラザ 保健センター	23人

(3) 手話奉仕員養成講座(入門課程)

(講師 栃木県手話通訳士協会・宇都宮市聴覚障害者協会)

開催期間	期日	時間	回数	受講者
10月～3月	毎週木曜日	午後1時30分～3時30分	19回	10人

(4) 点字講習会 (講師 笠原 悦子氏)

開催期間	期日	時間	回数	受講者
10月～12月	毎週水曜日	午後1時～3時30分	9回	3人

(5) 朗読ボランティア研修 (講師 柏崎 陽子氏)

開催期間	期日	時間	回数	受講者
4月～7月 10月～3月	毎月第1木曜日	午前10時～11時30分	10回	18人

(6) 点字ボランティア研修 (講師 時本 勲子氏)

開催期間	期日	時間	回数	受講者
4月～8月 10月～3月	毎月第2水曜日	午前9時30分～11時30分	11回	9人

(7) ボランティアセンター運営の充実

① ボランティアに関する相談・登録・紹介・情報提供

相談件数(通常)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74件

(くろねえポイント・訪問ボランティア)・・・・・・・・36件

- マッチング件数(通常) 10件
- (くろねえポイント・訪問ボランティア) . . . 3件
- ボランティアセンター登録者数 134人
- ② ボランティア連絡協議会 (V連)
 - 協力団体会員 15団体 (3, 478人)
 - 個人会員 66人
- ③ V連加入団体以外の把握ボランティア団体 3団体 (61人)

II. 基本目標 2

地域福祉活動を支える助け合い・支え合いの仕組みづくり

身近な小地域（自治会、地区社協）における福祉活動の活性化に向けて、地域ごとの実態を把握し、活動の支援に努めます。また、多様化する住民の福祉ニーズに対応するため、公的な福祉サービスだけではなく、住民をはじめ、自治会、民生委員児童委員、ボランティアなどの関係団体や町、町社協などの機関が連携して、地域包括ケアシステムの構築も見据えた地域ネットワークの形成に努め、住民参加による助け合い・支え合いのあるまちづくりを推進します。

(第3次地域福祉活動計画より抜粋)

1 福祉コミュニティづくりの推進

(1) 地区社協活動への援助

地区社協名	助成額(会費還元分)	食事サービス助成額	合 計
本郷小地区社協	262,000 円	104,000 円	366,000 円
本郷北小地区社協	304,000 円	162,000 円	466,000 円
上三川小地区社協	833,000 円	165,000 円	998,000 円
坂上小地区社協	144,000 円	73,000 円	217,000 円
北小地区社協	194,000 円	68,000 円	262,000 円
明治小地区社協	272,000 円	137,000 円	409,000 円
明治南小地区社協	199,000 円	76,000 円	275,000 円
合 計	2,208,000 円	785,000 円	2,993,000 円

◎ 助成金（会費還元分）算出根拠

前年度の会費（普通会費・特別会費）の3分の1

◎ 食事サービス助成金算出根拠

(200円×前年度配食対象者数) × 12月 + 基本額4万円

(2) 地区社協連絡協議会

総 会	5月19日(木)	午後6時30分	25名参加
情報交換会	新型コロナウイルスの影響により中止		
連絡会	3月8日(水)	午後6時30分	27名参加

(3) 食事サービス事業の支援

一人暮らしの高齢者や両老世帯、障がい者世帯等にボランティアが手作りのお弁当を届け、地域でのつながりや交流を深める。

実施地区	場所	開催日	利用者数	ボランティア数
本郷小地区	本郷地域福祉センター きらきら館	毎月第2水曜日	13人	7人
本郷北小地区	本郷北コミュニティセンター	毎月第1月曜日	46人	13人
上三川小地区	上三川いきいきプラザ	毎月第1火曜日	37人	34人
北小地区	石田コミュニティセンター	毎月第2土曜日	15人	10人
坂上小地区	坂上コミュニティセンター	毎月第2土曜日	13人	10人
明治小地区	明治コミュニティセンター	毎月第1月曜日	35人	17人
明治南小地区	明治南コミュニティセンター	毎月第2水曜日	14人	10人
合 計			173人	101人

(4) 地域ネットワーク構築「くろねえ事業」

① くろねえ会議（第2層協議体）

高齢者の買い物の状況と支援の必要性について意見交換を行った。特に移動販売についての意見が多くあり、高齢者支援協議体でそれらの意見を挙げ、協議を重ね「移動スーパー」が導入されることとなった。

地域の見守り体制充実のために、地区ごとにワーキンググループやくろねえ会議で話し合いを実施し、地域の見守り推進啓発チラシを作成し全戸配布した。

開催地区	回数	参加者
本郷小地区社協	2回／書面開催1回	56人／54人
本郷北小地区社協	2回／書面開催1回	61人／56人
上三川小地区社協	2回／書面開催1回	67人／84人
坂上小地区社協	2回	39人
北小地区社協	2回	38人
明治小地区社協	2回	56人
明治南小地区社協	2回	57人



地域の見守り推進啓発チラシ

② くろねえ個別会議

地域で困っている人に対し、その困りごとを取り巻く住民や関係機関を中心として話し合いを実施。自治会や班単位で認知症の人の見守りやゴミ出しが困難な人への近隣の協力体制づくり、緊急時の連絡体制の確認など困りごとの解決を目指す話し合いを行った。地域住民と情報を共有することで、地域の繋がりを強化した。

- 開催回数 12回
- 対象者 11名
- 延べ参加人数 96名
- 活動者 52名 (見守り・ゴミ出しなどの活動者)
- 延べ活動回数 255回

(5) 食事サービスボランティア連絡会

開催期日	内容	会場	参加者
6月9日(木)	調理実習：高齢者に喜ばれるお弁当作り 情報交換・連絡事項	いきいきプラザ 栄養指導室	13人

(6) 福祉協力員の設置・研修会

民生委員児童委員・福祉協力員合同研修会 (福祉協力員86名)

開催期日	内容	会場	対象者	参加者
5月25日(水) 上三川小地区 坂上小地区	福祉協力員の役割と 具体的活動について	いきいきプラザ 大会議室	民生委員児童委員 福祉協力員 地区社協会長	27人
5月26日(木) 本郷小地区 本郷北小地区				30人
5月27日(金) 北小地区 明治小地区 明治南小地区				41人

(7) 福祉機器・イベント機材の貸し出し ()内は件数

車椅子(大人用155・子ども用8)、募金箱(1)、拡声器(2)、ワイヤレスアンプ(6)延長コード(1)点字器(5)、聴覚福祉機器(1)、プロジェクタ(7)、スクリーン(8)、輪投げ台(3)、紅白幕(1)、テント(1)、パイプ椅子(1)、パネル(2)、ビブス(2)



2 自主活動の環境づくり

(1) 上三川いきいきプラザ内団体事務室の管理と施設の活用

① 団体事務室の運営

○利用登録団体数・・・・・・22団体

月	利用団体数	時間：分	開館日(日)	利用者数(人)
4	40	78：50	28	174
5	30	50：20	28	125
6	29	48：49	28	132
7	25	46：15	28	126
8	13	20：55	28	58
9	15	25：25	28	92
10	31	53：26	28	135
11	25	39：13	28	93
12	14	33：32	28	77
1	21	42：35	28	106
2	16	30：38	21	83
3	35	68：13	28	178
合計	294	538：11	329	1,379
月平均	25	44：50	28	115
1日平均	0.9	1：38	—	4.2

3 関係機関との連携強化

(1) 各種団体との連携と支援

- ・民生委員児童委員協議会（51人）
- ・シニアクラブ（1,538人）
- ・ボランティア連絡協議会（15団体・66人）
- ・身体障害者福祉会（34人）
- ・手話サークル「なかま」（11人）
- ・手をつなぐ育成会（28人）
- ・朗読コスモスの会（18人）
- ・アイの会（視覚障がい者の会）（10人）
- ・点字サークル「ぽつてん」（9人）
- ・遺族会（253人）
- ・楽らく隊（20人）
- ・ろう者の会（13人）
- ・ぴよんぴよんの会（12人）

○団体自主運営助成金を交付

上三川町シニアクラブ（100,000円）

上三川町身体障害者福祉会（16,600円）

上三川町手をつなぐ育成会（15,000円）

(2) 顔の見える関係会議

開催期日	内 容	会 場	対象者	参加者
7月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護連携推進事業計画 ・在宅医療の実際 ・事例発表 「在宅医療の現場から」 小口義夫医師 	ハイブリッド (オンラインと対面) 開催	医療・ 介護・ 福祉関係 従事者	来場 7人 オンライン 37人

(3) 地域ケア会議・・・33回 (内3回書面開催)
(くろねえ個別会議・自立支援型地域ケア会議を含む)

(4) 保健、医療、福祉等関係機関との連携強化

(5) 救急医療情報キット配付に向けたしくみづくり (新)

住民が安心した生活を送ることができるよう、急病や災害時に備え、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などを記入した「救急医療情報キット」配付に向け、行政や民生委員児童委員、在宅介護支援センター等の関係機関と話し合い、協力体制を確立した。

(6) 町内社会福祉法人との連携・連絡会議の開催
新型コロナウイルス感染の影響により中止。

(7) 介護予防ケアマネジメント業務

高齢者の自立を目標に要支援者・事業対象者に対し、総合事業によるサービス等が適切に行えるようケアマネジメントを実施。

(8) 高齢者支援協議体(第1層協議体)への参画・・・4回

(9) 介護支援専門員連絡会

開催期日	内 容	会場	参加者
4月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員連絡会の予定 ・日常生活支援、総合事業に関する こと ・療養パンフレットの活用について 	いきいきプラザ 大会議室	32人
5月17日(火)	障がい福祉サービスと介護保険サービスの併用について	オンライン開催	17人
8月23日(火)	BCP作成の進捗状況		16人
11月22日(火)	事例検討(虐待研修)		24人

Ⅲ. 基本目標 3 自立した生活を送ることができる基盤づくり

だれもが相談しやすい環境づくりに向けて、相談窓口の充実を図るとともに、相談窓口や福祉サービス等の情報を住民が入手しやすいよう、情報提供体制を充実します。また、住み慣れた地域での生活が続けられるよう、福祉サービスの利用支援に努めるとともに、生活困窮者など、社会的に支援が必要な人へのサービス提供に努めます。

(第3次地域福祉活動計画より抜粋)

1 相談支援体制の充実

(1) 総合相談窓口の充実

① 相談受付件数 240件

相 談 内 容	件数
総合相談	103
生活福祉資金（コロナ特例貸付を含む）	99
社会福祉金庫	9
日常生活自立支援事業（あすてらす）	12
成年後見制度	2
緊急対応食事サービス事業	15

(2) 地域包括支援センターの受託

① 総合相談支援業務 相談件数・・・318件 対応件数・・・7,052件

② 権利擁護業務

相 談 内 容	相談件数	対応件数
成年後見制度関連	5	117
虐待対応、カンファレンス	8	142

③ 包括的、継続的ケアマネジメント支援業務

内 容	回数
ケアマネジャーのサポート	55回

④ 介護予防業務

いきいきサロンやミニサロンで、フレイル予防・認知症予防・ズンドコ体操などを実施し、高齢者の介護予防を図った。

内 容	回数	延べ参加人数
地域での出前講座	14回	221人

⑤ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（新）

フレイル予防の普及啓発と運動・栄養・口腔等に関する健康教育・健康相談等を実施した。

対 象	回数	延べ参加人数
天神町ミニサロン	5回	56人
下多功ミニサロン	5回	47人

⑥ 地域包括ケア会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4回

(3) 心配ごと相談事業の受託

開催日時	場 所	相談員	相談件数
毎月第2、第4水曜日 午前9時～12時 (祝祭日等を除く)	いきいきプラザ 共用相談室	民生委員児童委員 8人 人権擁護委員 6人 行政相談委員 2人	18件 開設日数 22日

2 情報提供体制の充実

(1) 「社協だより」の発行

4月、5月、8月、10月、12月、2月 年6回発行 (各10,000部)

(2) ホームページの充実

事業関連等の最新情報を随時掲載し、情報提供の充実を図った。

(3) コミュニケーション支援事業の受託

① 手話通訳者登録数・・・・・・38人

② 要約筆記者登録数・・・・・・28人 (内 手話・要約筆記重複登録数 4人)

○手話通訳者及び要約筆記者の派遣 (派遣件数及び時間)

医療		学校・幼稚園		公的業務		公的な行事		その他家庭		ろう協関係		電話通訳		計	
件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間	件	派遣時間
87	186:13	12	68:27	50	227:32	10	143:07	11	39:42	2	38:32	2	6:12	174	709:45

○窓口対応 118件 (内、テレビ電話対応：32件)

(4) 声の広報の配布 (朗読コスモスの会の協力)

開催日時	内 容	対象者	利用人数
通年	町及び社協広報紙を朗読しCDへ録音、配布	視覚障がい者	6人

3 福祉サービスの利用支援

(1) 虐待啓発研修会 (関係者向け)

介護支援専門員等が異常に気付き、虐待を早期発見・早期対応が出来るよう研修会を実施。

開催期日	内 容	会 場	参加者
5月19日 (木)	虐待の発見時の対応、虐待相談票について	いきいきプラザ 中会議室	10人
10月20日 (木)		いきいきプラザ 大会議室	16人

(2) 日常生活自立支援事業 (あすてらす かみのかわ)

- ① 利用契約者数 6 件
- ② 専門員数 3 人
- ③ 生活支援員 4 人
- ④ 生活支援員活動回数 1 4 4 回

(3) 成年後見制度普及啓発講演会及び相談会

開催期日	内 容	会 場	参加者
7月22日(金)	成年後見制度普及啓発講演会 講義 「老後に備えよう！任意後見制度」 講師 司法書士 竹田 知史 氏	ハイブリッド (オンラインと対面) 開催	29人
	成年後見制度相談会 司法書士による相談会	いきいきプラザ 中会議室	1人

(4) 成年後見勉強会

開催期日	内 容	会 場	参加者
6月2日(木)	成年後見制度の基礎知識について	オンライン開催	8人
9月22日(木)	成年後見制度について		1人

(5) 権利擁護出前講座

- 開催回数 4 回
- 参加人数 5 7 人

(6) 成年後見制度の申立支援

- 申立申請 1 件

(7) 地域包括支援センターと連携した権利擁護業務

常に地域包括支援センターと緊密に連携。虐待防止や困難を抱えた方への支援を通して利用者の権利擁護を心がけた。

(8) 指定介護予防支援事業

令和5年3月31日現在

事業対象者 (要支援となるリスクが高い高齢者)	94人
要支援1・2認定者	224人
指定介護予防支援利用契約者 (新規)	85人
介護予防支援サービス計画 (ケアプラン) 作成件数	2, 874件
介護予防支援サービス計画作成委託契約締結居宅介護支援事業者	30事業所
介護予防支援サービス計画 (ケアプラン) 作成委託件数	1, 276件
サービス担当者会議	230回

4 社会的な支援を必要としている人への支援

(1) 認知症の人と家族の集いの場「えんがわ」の実施

会 場	回数	延べ参加者
上三川いきいきプラザ	10回	196人
明治コミュニティセンター	10回	74人
本郷地域福祉センター	6回	22人

(2) 認知症初期集中支援チーム連絡会・・・4回開催 認知症関連相談・・・39件

(3) 認知症サポーター養成講座

内 容	対象	回数	参加者
認知症サポーター養成講座	住民・企業	6回	134人

住民キャラバンメイトが講師役となり実施（6回）

※小・中学生向け7回は3ページに記載

※認知症サポーター数 6,938人（令和5年3月末現在）

(4) 認知症相談会 1回

認知機能チェック 4件・個別相談 2件

(5) 認知症家族交流会

開催期日	内 容	会場	参加者
7月4日（月）	交流会	いきいきプラザ	4人
7月19日（火）		中会議室	7人
8月5日（金）	「認知症について～家族が知っておきたいこと」 講師：自治医科大学付属病院 認知症疾患医療センター センター長 須田安郎氏	いきいきプラザ 大会議室	中止

(6) キャラバンメイトスキルアップ研修

開催期日	内 容	会場	参加者
5月25日（水）	キャラバンメイトとは、ふりかえり、これから	いきいき プラザ 大会議室	16人
1月27日（金）	認知症サポーターステップアップ共同 開催 「チームオレンジとは。私たちの役割」 講師：NPO法人風の詩 理事長 社会福祉士 認知症ケア専門士 永島 徹氏		キャラバンメイト 26人 認知症サポーター 9人

(7) 寝たきり老人紙おむつ支給事業

寝たきりの状態にあり、要介護3以上で65歳以上の高齢者に年間15,000円の紙おむつ支給券を発行した。

利用者数・・・129人 協定業者・・・・・・4社

(8) 理容・美容サービス料金助成事業

寝たきりの状態にあり、要介護3以上で65歳以上の高齢者に1回の助成額1,500円の券4枚綴を発行した。

利用者数・・・・・・74人 協定業者・・・・・・17社

(9) タクシー料金助成事業

対象者へタクシー券を年50枚（1枚500円分）を交付した。

対 象 者	利用者数
身体障害者手帳1, 2級	141人
療育手帳A1, A2	6人
精神保健福祉手帳1級	14人
合 計	161人

(10) 緊急対応食事サービス事業

食事が確保できず生命の維持に支障をきたす恐れのある人に対し、一時的に食事を提供し各種の支援サービスにつなげた。

利用者数・・・・・・3件（延べ食数 34食）

(11) ひきこもり対策事業

かみのかわ福祉の集いにおいて、「ひきこもりの理解と対話的支援」をテーマに講演会を実施。

開催期日	内 容	会場	参加者
2月11日（土）	講義 「ひきこもりの理解と対話的支援」 講師 筑波大学医学医療系社会精神保健学 教授 斎藤 環 氏	いきいき プラザ 大会議室	76人

(12) 貸付事業

貸付資金名	相談件数	貸付件数
生活福祉資金（県社協より受託）	99件	36件
社会福祉金庫	9件	0件

新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少した世帯に対する緊急小口資金貸付及び総合支援資金貸付の貸付相談、申請手続きを行政、郵便局、県社協等関係機関と連携して対応した。

※生活福祉資金申請内訳 緊急小口資金特例貸付 25件
総合支援資金特例貸付 11件

(13) 福祉車両（どりーむ号・いきいき号）の貸し出し

車いす利用の高齢者や障がい者の移動手段として車いす搭載車両2台体制で対応し、介護者や車いす利用者の負担軽減を図る。

- ① 新規利用登録者・・・21人
- ② 貸出件数・・・180件（どりーむ号 102件、いきいき号 78件）

(14) 日常生活外出支援ボランティア事業

外出の支援が得られない高齢者・障がい者・難病患者の日常生活上の外出を登録ボランティアが支援する。

利用登録者数	延べ利用回数	登録ボランティア数	延べ活動人数
55人	15回	31人	26人

IV. 基本目標4 安心して暮らせる地域環境づくり

子どもからお年寄りまで、町に住むだれもが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、災害等の緊急時を見越した平常時からの安否確認体制を整備するなど、地域の防災力・防犯力の向上に努めます。また安全・快適な生活が送れるよう、バリアフリーの推進に努めます。

(第3次地域福祉活動計画より抜粋)

1 安心・安全な地域づくり

(1) 地域見守りパトロール事業「地域の安全見守り隊」(発足 H18. 1. 13)

① 連絡会

開催期日	内容	会場	参加者
1月27日(金)	下野警察署員による見守り活動の留意点と犯罪情勢についての講話等	いきいきプラザ 大会議室	40人

※登録隊員数159人

② 機動力整備事業(機動部隊の発足 H27. 4. 8)

青色回転灯を装備した車両で町内を巡回。7小学校区に担当を配置し、見守り体制の強化を図る。

実施期間	活動区域	見守り対象	隊員数
通年	町内全域	主に児童・生徒	11人

2 地域の防災力・防犯力の向上

(1) 災害時の支援体制の確立

内部研修として新規事業で策定した事業継続計画（BCP）の内容の共有と地域防災計画及び本会災害ボランティアセンター運営マニュアルとの関連を確認した。

3 人にやさしいまちづくり

(1) 子供の遊び場設置費及び補修費助成事業の推進

申請自治会 2件

V. 法人運営

1 社会福祉協議会の基盤強化

(1) 理事会・評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

①理事会（12人）. 4回

★第1回理事会 令和4年6月14日（火） 午後2時00分～

議案	議案内容
報告第1号	第3次地域福祉活動計画の進捗状況について
報告第2号	会長及び常務理事の職務の執行状況について
議案第1号	評議員選任候補者の推薦について
議案第2号	職員の妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシュアルハラスメントの防止に関する規程の一部改正について
議案第3号	事務局職員就業規則の一部改正について
議案第4号	嘱託職員就業規則の一部改正について
議案第5号	臨時職員就業規則の一部改正について
議案第6号	令和3年度事業の承認について
議案第7号	令和3年度社会福祉事業収入支出決算の承認について
議案第8号	令和3年度公益事業収入支出決算の承認について
議案第9号	令和4年度資金運用方針について
議案第10号	令和4年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について
議案第11号	令和4年度定時評議員会の開催について

★第2回理事会 令和4年11月18日（金） 午後2時00分～

議案	議案内容
報告第3号	令和4年度事業の執行状況について
報告第4号	職員採用試験の結果について
議案第12号	令和4年度社会福祉事業補正予算第1号について
議案第13号	社会福祉金庫貸付事業における償還免除について
議案第14号	令和4年度第2回評議員会の開催について

★第3回理事会 令和5年1月13日（金） 午前10時30分～

議案	議案内容
議案第15号	副会長の選定について
議案第16号	評議員選任候補者の推薦について
議案第17号	令和4年度第2回評議員選任・解任委員会の開催について

★第4回理事会 令和5年3月22日（水） 午後2時00分～

議案	議案内容
報告第5号	職員採用試験の結果について
報告第6号	第3次地域福祉活動計画の進捗状況について
議案第18号	経理規程の一部改正について
議案第19号	職員の育児休業等に関する規程の一部改正について
議案第20号	助成金等交付規程の廃止について
議案第21号	令和4年度社会福祉事業補正予算第2号について
議案第22号	令和4年度公益事業補正予算第1号について
議案第23号	役員等賠償責任保険契約の締結について
議案第24号	令和5年度資金運用方針について
議案第25号	令和5年度事業計画について
議案第26号	令和5年度社会福祉事業収入支出予算について
議案第27号	令和5年度公益事業収入支出予算について
議案第28号	令和4年度第3回評議員会の開催について

②評議員会（22人）・・・・・・・・・・・・・・ 3回

★定時評議員会 令和4年6月28日（火） 午後1時30分～

議案	議案内容
報告第1号	第3次地域福祉活動計画の進捗状況について
議案第1号	令和3年度事業の承認について
議案第2号	令和3年度社会福祉事業収入支出決算の承認について
議案第3号	令和3年度公益事業収入支出決算の承認について

★第2回評議員会 令和4年12月21日（水） 午後2時～

議案	議案内容
報告第2号	令和4年度事業の執行状況について
報告第3号	職員採用試験の結果について
議案第4号	令和4年度社会福祉事業補正予算第1号について
議案第5号	理事の選任について

★第3回評議員会 令和5年3月28日（火） 午後1時30分～

報告第4号	職員採用試験の結果について
報告第5号	第3次地域福祉活動計画の進捗状況について

議案第6号	令和4年度社会福祉事業補正予算第2号について
議案第7号	令和4年度公益事業補正予算第1号について
議案第8号	令和5年度事業計画について
議案第9号	令和5年度社会福祉事業収入支出予算について
議案第10号	令和5年度公益事業収入支出予算について

③評議員選任・解任委員会（5人）・・・・・・・・・・2回

★第1回評議員選任・解任委員会 令和4年6月20日（月） 午後1時30分～

議案	議案内容
議案第1号	評議員の選任について

★第2回評議員選任・解任委員会 令和5年1月20日（金） 午前10時～

議案	議案内容
議案第2号	評議員の選任について

④ 監事会（2人）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1回

令和4年5月24日（火） 午後1時30分～2時45分

⑤ 補助団体監査（上三川町監査委員2人）・・・・・・・・・・1回

令和4年7月6日（水） 午前9時00分～10時10分

(2) 民間財源の充実

① 社協会員（会費）募集

(ア) 社協会費説明会

期 日	内 容	会 場	対象者	参加者
6月22日（水） 第1部：15時 第2部：19時	・社会福祉協議会の活動について ・会員募集について	いきいき プラザ 大会議室	自治会長	第1部：34人 第2部：17人

(イ) 会員募集期間・・・・・・・・・・令和4年7月1日～8月5日

(ウ) 実績額（総額）・・・・・・・・ 7,757,000円

内 訳	賛助会員（1口5,000円）	1,010,000円	202口
	施設会員（1口5,000円）	60,000円	12口
	特別会員（1口3,000円）	357,000円	119口
	普通会員（1口1,000円）	6,319,000円	6,319口
	その他	11,000円	

② 共同募金運動

(ア) 栃木県共同募金会上三川町支会運営委員会の開催

○第1回運営委員会

期日及び場所：令和4年6月14日（火） いきいきプラザ

議 題

*令和3年度共同募金事業報告について

*令和3年度共同募金決算の承認について

*令和4年度共同募金B募金目標額について

○第2回運営委員会

期日及び場所：令和4年9月20日（火） いきいきプラザ
議 題

*令和4年度共同募金事業計画（案）について

*令和4年度共同募金予算（案）について

(イ) 実施期間 令和4年10月1日～11月30日

(ウ) 実績額（総額）. 4, 675, 904円

内 訳	戸別募金	3, 003, 864円
	事業所募金	1, 390, 900円
	学校募金	149, 195円
	職域募金	36, 902円
	バッジ募金	54, 000円
	その他の募金	41, 032円
	利息	11円

(エ) 災害たすけあい義援金

義援金名	件数	金額
令和4年山形県大雨災害義援金	1件	14, 000円

③ 「しあわせ基金」の安全かつ有利な運用

(ア) 基金総額 113, 743, 911円

運用内訳 普通預金 1, 293, 911円

定期預金 18, 500, 000円

有価証券 93, 950, 000円

*基金の一部を取崩し、各種地域福祉活動に充当する。

④ 善意銀行

(ア) 金品、物品の預託・払い出し

○金品預託 76件 1, 623, 684円

○物品預託 2件 雑巾・アルファ米炊き出しセット

○しあわせ基金への払い出し 1, 200, 000円

(3) 事業継続計画（BCP）の策定（新）

令和4年4月に策定。随時、見直しを実施。

※ 以上のほか、平成29年度に策定した第3次地域福祉活動計画に基づく各種の事務事業について、見直しも含め随時、調査・研究を行った。